愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習III		
担当者(Instructors)	谷口 正博	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

実用的なデザイン・クリエィティブスキルを、経営・ビジネス分野で求められる問題解決に応用する力を養います。 実例を通じクリエィティブな要素が実社会においてどのように活かされているかを学び、各自の研究分野として卒業後の進路も視野に入れた目標を設定します。 個人研究、共同研究それぞれにおいて、実際のモノやコトにつながるプロジェクトと、その調査企画から実施の経過報告といった企画全体を卒業レポートとして作成します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式。グループワークや実制作を伴う学内外の実習を取り入れ、その体験と成果をプレゼンテーションとレポート形式にまとめていきます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	卒業研究、卒業プロジェクトとしての授業の進め方	□
第2回	取り組むテーマ設定 共同研究	ゼミ全体で共有するテーマ設定	□
第3回	取り組むテーマ設定 個人研究	全体のテーマから、さらに個人研究として絞り込んだテーマ設定	□
第4回	プロジェクト企画構想	設定したテーマに基づいたプロジェクトを策定する 理論や構想の現実社会へのインストール手法	□
第5回	プロジェクト企画策定の進捗報告①	個人・共同研究テーマに基づいたプロジェクトついて進捗状況報告を行う	□
第6回	プロジェクト企画策定の進捗報告②	個人・共同研究テーマに基づいたプロジェクトついて進捗状況報告を行う メンバー間でのディスカッションから問題点などの洗い出しを行う	□
第7回	プロジェクト企画策定の進捗報告③	個人・共同研究テーマに基づいたプロジェクトついて進捗状況報告を行う メンバー間でのディスカッションから問題点などの洗い出しを行う	□
第8回	プロジェクト企画実施準備①	企画実施のための準備期間 実施までのスケジュール、必要人員、物品機材、予算などの明確化	□
第9回	プロジェクト企画実施準備②	企画実施のための準備期間 実施までのスケジュール、必要人員、物品機材、予算などの明確化	□
第10回	プロジェクト企画実施①	プロジェクトの実施、運営	□
第11回	プロジェクト企画実施② 実施成果の記録編集①	プロジェクトの実施、運営 実施状況の記録をテキスト、写真、動画等で行う	□
第12回	プロジェクト企画実施③ 実施成果の記録編集②	プロジェクトの実施、運営 実施状況の記録をテキスト、写真、動画等で行う	□
第13回	実施成果の記録編集③	企画全体をまとめたレポート、動画、WEBサイトなどのアーカイブとして編集	□
第14回	プロジェクト企画実施成果報告会	企画全体をまとめた内容のプレゼンテーションを行う	□
第15回	今期のまとめ	実施成果、アーカイブ記録編集、レポートなどのまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

自らのテーマやプロジェクト企画に関連した情報収集を行うこと（2時間程度） 共同研究、共同プロジェクトにおいて自らの役割を判断し、

適切な準備などを積極的に行うこと（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

受講メンバー間でのオンライン情報共有を行い、随時補助指導出来る環境とする

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	企業経営を社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを伝えられる形でクリエィティブに表現できる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	様々な個性・利点・問題点を抱えた地域におけるビジネス課題に、クリエィティブな側面から具体的に関わるための技術とその実装を主体的に実施できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

プロジェクト企画の実施成果、プレゼンテーション、アーカイブ、レポートの内容を評価します

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テーマに沿った内容の資料データを配布します	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	統合型クリエイティブアプリ「AdobeCC」*有料https://www.adobe.com/jp/creativecloud.html	
2		
3		
4		
5		